シリーズ

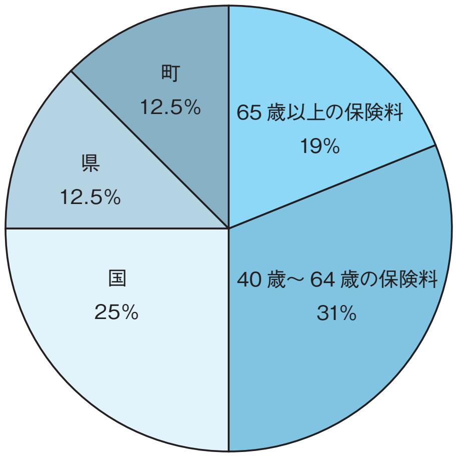
みんなで支える介護保険 No.52

◆介護保険の財源についてQ＆A

介護保険料は４０歳以上の人に納めていただいております。今回はその介護保険料がどのように使われているかQ＆Aで紹介します。

Q　わたしたちが納めている介護保険料は何に使っているのですか？

A　介護保険料は４０歳以上の人に納めていただいております。みなさんに納めていただいている保険料は，介護サービス費をまかなうために使われており，貴重な財源となっています。下の「大崎町の介護保険財政状況」の数値からも分かるとおり，介護サービス費はかなり高額になっており，そのうちの５０％（約４，５２５万円）を保険料でまかなっています。



介護保険の財源構成

Q　介護サービス費はどうしてこんなに高いのですか？

A　介護サービス費は制度で決められた価格で提供されています。では，なぜこのように高いのか下にまとめてみます。

- 介護サービス費の単価が高い。
- 介護サービスを利用する人（回数）が多い。
- 施設サービスを利用する人が多い。（施設サービスは在宅サービスに比べてかなり高額な費用が必要です。）

楽しい老後にしようじゃないか！

介護サービスは利用した分だけ保険料に影響してきます。必要な分だけ利用して，必要以上のサービスを減らすようにしましょう。

「高齢だから外に出ない」や「地域の行事に参加しない」などの閉じこもりは介護が必要になる原因を招いてしまいます。「元気で長生き」を目標に地域交流に参加する高齢者を目指して楽しい老後を過ごしてください。

大崎町の介護保険事業の報告

介護保険事業の実績についての報告（利用者の1割負担を除いた大崎町の支払い分）

第１号被保険者（６５歳以上の人）		4，801 人	平成18年12月末日現在
要介護（支援）認定者		802 人	
給付実績	在宅介護サービス費	27，225，792 円	平成18年11月の給付実績
	施設介護サービス費	41，742，620 円	
	その他（介護予防サービス費も含む）	21，545，120 円	
	介護サービス費　合計	90，513，532 円	

〈問い合わせ先〉　大崎町役場　福祉課　介護保険係　TEL 476 －1111（内線 131）